

第1章 教育

教育プロジェクト①

環境の提供から現場での実践に重点が移り 多岐にわたる教育実践プロジェクト

さまざまな教育実践プロジェクト

日本の学校の子どもたちによるインターネットの活用を支援する教育実践プロジェクトは、多数実施されている。1994年頃から先駆的な試みがスタートして以来、さまざまな企画が新たに発足し、現在進行中のプロジェクトは、少人数のボランティアによって支えられている草の根的な活動から、民間ないし公的機関がサポートする大規模なものまで多岐にわたる。従来の教科の枠組みを超えた実践的教育プロジェクトは、次世代の教育のあり方を探る試行錯誤であり、未来の学習のスタイルを創り出すパワーである。それらのうち全国規模のものとしては、以下の3つのプロジェクトが活発な活動を展開している。

■E-スクエア・プロジェクト

文部省および通産省は、学校教育におけるインターネットの可能性、有効性を実証するための先駆的な実践プロジェクトを推進してきた。1994年度から1996年度までは「100校プロジェクト」、続く1997年度から1998年度までは「新100校プロジェクト」として、全国約100か所程度の学校へのインターネット接続を実施した。事業のスタート当初は、利用環境の提供に重点が置かれていたが、やがて「酸性雨調査プロジェクト」や「全国発芽マップ」などの特定テーマに関する学校間交流をベースとした共同学習に重点が移されてきた。

そして1999年度からは、「Eスクエア・プロジェクト」を継承プロジェクトとして、100校に限定せずに、広く全ての学校を対象とする共同学習支援を実施している。

■こねっと・プラン

「こねっと・プラン」は、「教育でのマルチメディア環境の整備と活用」

を推進するプロジェクトとして、1996年にスタートした。文部省、郵政省の協力のもと、NTT社をはじめ、多数の企業・団体・個人からなる「こねっと・プラン推進協議会」が活動主体となり、各種プログラムを推進している。

「こねっと・プラン」は、当初は、日本全国の約1000校の学校に対して、インターネットのダイヤルアップ接続サービスを提供することに重点を置いていたが、やがて、学校でのインターネット活用のためのさまざまな支援プロジェクトを実施し、各種セミナーの実施、共同学習の支援などを活発に行うようになった。とりわけ、「こねっとgoo」と呼ばれる検索システムや、「こねっと・ワールド」というホームページにおける教科別の豊富な教育コンテンツの提供などを通じて、学校でのインターネット活用に寄与してきた。

■メディアキッズ

「メディアキッズ (MediaKids)」は、1994年にアップルコンピュータと国際大学グローバル・コミュニケーション・センター (GLOCOM) が共同で主催する共同学習プロジェクトとしてスタートした。1996年5月には、「メディアキッズ」を支援する多くの企業・組織からなる「メディアキッズ・コンソーシアム」が設立され、メディアキッズの活動に対する財政的な支援がなされている。2000年度からは、大学の研究者や参加校の教員などが中心となって自主的に運営する任意研究団体へと性格を変えてきている。

「メディアキッズ」は、初期の頃は学校へのインターネット接続環境の提供を行ってきたが、むしろインターネット接続後の学校における子どもたちの実践に重点を置き、インターネットを活用した新しい情報教育の在り方と、オンラインコミュニティの有効性を世に先駆けて示してきた。

子どもたちがネットワークに「なれ親し

む」ことを目的とした「こんにちはプロジェクト」や、共同学習「わいわいプロジェクト」など、さまざまな学校間交流が行われている。全国で小・中あわせて8校の交流からスタートし、参加校は年々増え続け、2000年3月には、約100校に増加している。

さかんになりつつある地元の 特性を生かした地域ネットワーク

地域に根ざした実践グループによる活動が活発になってきた。学校を核とした地域ネットワークの試みは、地域の教育委員会が主導する地域学校間交流や、地域の教員が自主的に集まる研究会活動、学校と家庭を結ぶネットワークなどの形態をとりながら、全国各地で広がりをみせ始めている。

学校教育は地域に密着した活動であるがゆえに、地域に根ざした実践プロジェクトは、さまざまな点で全国規模の実践にない優位性が指摘されている。たとえば、学校間でのオンラインの交流が発展して、他の学校の子どもたちと実際に会おうとすると、近くの学校でないかぎり、移動のコストがかさむために実現が困難である。その点、地域ネットワークでのオフラインは組み立てが容易である。また保護者や卒業生などのボランティア的な協力を受けながら実践を組み立てることも可能となる。学校を核とした地域ネットワークの実践は、学校と家庭との間のコミュニケーションに質的な変化をもたらしている。

(新谷隆 国際大学GLOCOM)

<http://www.edu.ipa.go.jp/E-square/>

<http://www.wnn.or.jp/wnn-s/>

<http://www.mediakids.or.jp>



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp